

目次

口絵…………… i

刊行のことば…………… ix
三郷村誌刊行会長 西山 穰司…………… ix

凡例…………… xi

I部 「三郷村の日々」

第一章 日々のくらし…………… 1

第一節 衣生活…………… 3

一 仕事着…………… 3

1 男性 2 女性

二 手指し・手つ甲…………… 7

農作業中の腕や手の甲の保護

三 かぶり物…………… 7

1 笠・帽子 2 手ぬぐい

四 足仕度…………… 9

1 脛巾・脚半 2 履物

五 晴れ着…………… 11

1 子供の晴れ着 2 女性のかぶりもの

3 喪章と履物 4 衣服の新調と中間着

5 結婚

六 雨具・雪具・防寒着…………… 16

1 雨具 2 雪具 3 防寒着

七 紡織・染色・保存…………… 18

1 紡織 2 染色(手染) 3 保存

八 子供の衣生活…………… 20

1 乳幼児 2 通学服 3 服装とまごころ

九 下着…………… 24

1 男性 2 女性 3 生理用品

十 寝具・夜具…………… 25

1 布団 2 そのほか

十一 衣服の調整…………… 28

1 裁縫 2 洗濯

第二節 食生活…………… 33

一 食料…………… 33

1 主食料 2 副食料 3 野生植物の利用

4 魚介類や肉類などの利用 5 救荒食料

二 食品…………… 39

1 粉食 2 ハレの日の食品

三 調整…………… 42

1 味噌 2 清ましと溜り

四 貯蔵と保存……………44

1 貯蔵 2 漬物 3 凍み食品 4 乾燥食品

五 食制……………49

食事のとり方

第三節 住生活……………51

一 屋敷……………51

1 屋敷構えと屋敷の選定 2 屋敷周り

3 飲料水

二 屋敷内の建物……………56

1 建物の種類 2 母屋おもや 3 付属建物とその変遷

三 間取り(間仕切り)まじきり……………62

1 部屋数と呼び名 2 部屋の用途と変遷

四 囲炉裏いろりとかまど……………65

1 囲炉裏 2 かまど

五 家具調度……………67

1 火道具と灯火 2 暖房

六 建築儀礼……………69

1 普請 2 新築の手順と行事 3 屋根職人

第四節 社会生活……………74

一 ムラ……………74

1 伝承にみるムラの起こり 2 ムラのしくみ

3 ムラの仕事

二 共有の財産……………80

1 共有地・集会施設 2 寺と墓地

3 用水・井戸・水道 4 馬糞うまごい場 5 共有山

三 年齢集団……………85

1 若い衆・お祭り青年 2 子供組

3 女性の集まり

四 地縁的集団……………89

1 同族 2 葬儀にかかわる仲間

3 隣組・五軒組

五 本分家……………92

1 本分家のツキアイ 2 訪問と贈答

六 親戚しんせきと家族……………94

1 親戚・擬制的親子 2 ウチとソト

3 一人前 4 代替わりと隠居

七 交流の諸相……………99

1 ゆいといぢどなり 2 無尽

3 友達・趣味仲間

第五節 新しい地域社会……………102

一 故郷を求めて……………102

1 田んぼから住宅地へ 2 新たな居住者

二 地域づくり……………107

1 田村との交流 2 自分たちのマチをつくる
 三 新たな地域に根付く 118

1 日常生活 2 近隣付き合いと葬儀
 3 行事と生家

四 次世代へのメッセージ 128
 1 世代交替 2 故郷づくり

第二章 仕事とまつり 133

第一節 生産・生業 135

一 耕地 135

1 田と畑の面積 2 仕事を始める目安 135

二 稲作 137

1 苗代 2 田起こしと代かき 3 田植え
 4 田の草取りと稲刈り 5 調整

三 養蚕 143

1 年間飼育回数 2 一番多い掃き立て

四 畑作 145

1 畑作で暮らす 2 松林からりんご園へ

五 夜業と労働交換 151

1 夜業 2 労働交換

六 山仕事 152

1 柚てま 2 薪採りと炭焼きまきと

七 鳥獣猟と川魚 155
 1 鳥獣猟 2 川魚

第二節 交通・交易・運搬 157

一 交通 157

1 農作業の道 2 村から村への道(三郷村の古道)

3 道普請 4 道の分岐点と標識 5 旅や遠出

6 旅芸人 7 季節雇用

二 交易 165

商売

三 運搬 169

1 肩や背による運搬 2 人力や牛馬による運搬

3 車による運搬

第三節 信仰 175

一 ムラの神 175

1 産土神うぶすながみ・氏神 2 その他の神社

二 村内の寺院および堂宇 183

1 寺院 2 村の堂

三 各区の同族神と屋敷神 187

1 小倉地区 2 野沢 3 上長尾 4 下長尾

5 楡 6 住吉 7 七日市場 8 一日市場

9 二木 10 及木 11 中萱 12 各地区共通

四 ムラの石神・石仏……………191

1 道祖神 2 道祖神の祭り 3 石神と石仏……………198

五 家や蔵に祀る神……………198

六 講……………199

七 雨乞い・虫送り・風祭り……………201

八 神仏に心願を託した絵馬……………202

「三郷村指定有形文化財」指定の奉額絵馬……………205

(I部第二章第三節「信仰」表3-6参照)

第四節 人の一生……………213

一 人生の折々に……………213

1 結婚のあとさき 2 結婚後の暮らし……………213

3 妊娠と出産 4 子供の成長とともに……………213

5 厄年と年祝い 6 死と喪……………213

二 子供と若者の暮らし……………228

1 少年少女時代の思い出……………228

2 青年時代・娘時代のひとこま……………228

三 老人の暮らし……………237

1 現在の子供と若者を見て……………237

2 楽しみや生きがい……………237

3 自分の人生を振り返り、世の中のことを思う……………237

第五節 年中行事……………243

一 正月の準備……………243

1 年末の大掃除(すす払い) 2 松迎えと門松飾り……………243

3 餅つきとお飾り餅……………243

二 年取り……………244

1 新霊 2 大晦日の一日と暮れ勘定……………244

3 年取りの晩……………244

三 年末・年始の食生活……………246

1 年取りの料理 2 元日の朝 3 正月の料理……………246

四 正月・小正月……………247

1 初参り 2 若水 3 仕事始めと初荷……………247

4 御柱 5 七草 6 松送り……………247

7 鏡開きと蔵開き 8 若年の物作り……………247

9 成木責め(なりきせ) 10 鳥追い……………247

11 三九郎 12 お賽日 13 二十日正月……………247

五 春の行事……………256

1 節分 2 初午 3 事始め(八日餅)……………256

4 やしろうま(やしよま) 5 秋葉様の祭り……………256

6 山の神 7 彼岸 8 雛祭り 9 味噌炊き……………256

10 花祭り 11 苗代しめと種まき……………256

12 お不動様の縁日 13 端午の節句……………256

六 夏の行事……………266

1 農休みと子供相撲 2 七夕 3 墓掃除……………266

4	盆棚作り	5	新盆の家 <small>あらばん</small>	6	迎え盆
7	盆踊り	8	子供道祖神祭り	9	送り盆
七	秋から冬へ				

1	十五夜	2	十三夜(後の月)	3	二十三日
4	蚕玉あげ <small>こたま</small>	5	十日夜・かかしあげ <small>とおかんや</small>		
6	恵比寿講 <small>えびす</small>	7	こばしあげ(こうばしやげ)		
8	山の口開け	9	秋がしき	10	冬至 <small>とうじ</small>

第三章 言い伝え

第一節 民俗知識

はじめに	279
------	-----

一 予兆(事の前触れ)	279
-------------	-----

1	天候の予知	2	今年の豊凶
---	-------	---	-------

3	人に関する予知
---	---------

二 占い	284
------	-----

1	呼び名	2	占う人	3	お化けと幽霊 <small>ゆうれい</small>
---	-----	---	-----	---	----------------------------

三 禁忌 <small>きんき</small>	286
-------------------------	-----

1	土地と忌み	2	忌まれる行為
---	-------	---	--------

四 呪いと療法 <small>まじな</small>	289
----------------------------	-----

1	まじない(呪い)	2	病氣療法(治療の方法)
---	----------	---	-------------

3	家伝葉	4	灸 <small>きゅう</small>
---	-----	---	----------------------

五 躰 <small>しづ</small> と一人前	294				
1	躰	2	子供の仕事	3	一人前への歩み
4	一人前				
六 その他	299				
1	計量(はかる)	2	いいならわし		

第二節 芸能・民間伝承

一 民俗芸能	302
--------	-----

1	村祭り(氏神様)	2	道祖神祭り	3	盆踊り
---	----------	---	-------	---	-----

4	旅芸人
---	-----

二 競技	311
------	-----

1	体力競技(相撲・力石)
---	-------------

2	賭けごと <small>か</small>
---	-----------------------

三 子供の遊び	314
---------	-----

1	口遊び	2	軒下での遊び	3	戸外での遊び
---	-----	---	--------	---	--------

4	辻遊び <small>つじ</small>
---	-----------------------

四 民間伝承	320
--------	-----

1	植物の話	2	石と岩の話	3	水の話
---	------	---	-------	---	-----

4	山の話	5	神社や寺・堂の話
---	-----	---	----------

6	地蔵や観音の話	7	動物の話	8	世間話
---	---------	---	------	---	-----

第三節 ふるさと言葉

一 ふるさとの見える言葉

328

1 土地に根ざした言葉

2 方言を味わいやすく

二 お庚申様こうしんの夜話より

329

1 みんなの話

2 子供のころ

3 大人になって

4 ところ変われば

5 ふるさと言葉と温明教育

三 方言の味

348

II部 「三郷村に生きる」

第一章 自然とともに

351

第一節 街道と西山をめぐる民俗

353

はじめに

一 街道と市

353

1 街道

2 大黒様

3 市場

二 市と西山

358

1 市神

2 道祖神

3 市と山

おわりに

第二節 三郷の堰

367

はじめに

一 カワのイメージ

367

1 村の川と堰せき

2 浄めるカワきよ

3 カワをおそれる

二 堰の利用

373

1 飲み水・漉し井戸

2 洗い場としての堰

3 水田を潤す堰

4 水力の利用

5 堰や水の管理

三 子供とカワ

382

1 水遊び

2 魚捕り

おわりに

第三節 住まいと環境

386

はじめに

一 村の景観変化

386

1 村の移り変わり

2 村の風景とその変化

二 家屋敷の景観変化

390

1 家屋敷の変化

2 屋敷林と垣根

3 燃料や食料の確保

三 住まいの変化

395

1 母屋内おもやの変化

2 季節による部屋利用

3 住まいと環境

第二章 暮らしのかたち

第一節 女性の運んだ民俗

はじめに

一 衣服の調整

1 子供の衣服 2 夫の衣服 3 妻の衣服

4 夫の両親の衣服 5 嫁ぐ娘へ 6 洗濯

二 味の伝承

1 味の移り変わり 2 食材について

3 汁器じゆきについて 4 元旦がんたんの飲食

5 漬物の漬け方 6 三郷の味に 7 男性の料理

8 味へのこだわり

三 住まいの管理

1 家を建てるとき 2 掃除

四 躰たがひ

五 生業

1 生業にかかわる 2 舅いせと姑いそから学ぶ

六 夫婦の関係

1 長男との結婚 2 夫との関係

3 親夫婦と子供夫婦の関係 4 子供と結婚

5 パートナーとして

七 近所付き合い

399

1 親しくさせた話 2 新興住宅地
3 アパート住まい 4 子供を育てる
八 先祖の祀りまつり

1 墓の購入 2 墓参り 3 死生観の違い

4 最近の葬式

おわりに

418

第二節 三郷の養蚕とその特色

——さまざま施設から——

一 三郷村の養蚕概観

基幹産業としての養蚕

二 養蚕の隆盛と衰退

1 飼育回数と桑 2 蚕種のとおり方

3 りんご栽培と蚕の相克

三 養蚕が三郷にもたらしたもの

1 種屋のさまざまな施設

2 ムラの中にもたらされたもの

四 養蚕の道具

1 蚕室消毒用ポンプ

2 稚蚕ちさんを育てるためのトタン張りの箱

3 飼育用の蚕かごと上簇用の蚕かご

4 蚕網かごあみ 5 蚕かごを差し込む柵 6 給桑台きつそうだい

7 桑採りかご 8 ポテ

417

9	桑切り包丁と桑切り機	10	給桑ざる
11	桑こき機	12	上簇用具
13	てっぽうかごと繭袋	14	毛羽とり機
15	温度の管理	16	蚕卵枠
		17	蚕室
18	桑ムロ	19	蚕種の新聞広告
20	種屋の売り上げ帳簿		

第三節 野菜と果樹をめぐる民俗

はじめに	437
一 開拓史	437
1 開拓史	437
2 マージナルな視点	437
二 生産と出荷	439
1 果樹栽培の変遷	439
2 前栽畑	439
3 出荷用と自家用のあいだ	439
三 野菜・果物とところ	444
1 りんご祭り	444
2 作物禁忌	444
3 果物とところ	444
4 野の実	444
四 すいかとメロン	449
1 すいかは野菜か果物か	449
2 野菜観・果物観	449
おわりに	449

第四節 マチにふく風	456
はじめに	456
一 マチという場所	456
二 一日市場に嫁いで	460
1 商売屋に来たAさん	460
2 農家に来たBさん	460
3 嫁の目	464
三 銭湯のある暮らし	464
おわりに	464

第五節 道祖神の祭り与人々の暮らし	466
はじめに	466
一 道祖神の宝庫と呼ばれて	466
1 道祖神碑を建立する	466
2 東小倉の道祖神	466
3 現代の道祖神	466
二 道祖神を祀る	470
1 夏の道祖神祭り	470
2 冬の道祖神祭り	470
3 御柱	470
4 子供仲間の果たした役割	470
三 三九郎	479
1 小正月の楽しみ・三九郎	479
2 三九郎が変わった	479
四 道祖神とかかわって暮らす	483
1 道祖神は子供の守り神・家の守り神	483
2 道祖神を中心にまとまる	483

3	ムラの神からマチの神へ	
4	祭りが村の文化財に	
5	三郷村らしい道祖神の祭り	486
	おわりに	

第二章第五節 参考文献

第三章 ころの風景……………489

第一節 三郷村の「道祖神」祭り……………491

一	「道祖神」とは何か……………491
二	「道祖」から「道祖神」へ……………491
三	「道祖神」の呼称の地域的差異……………492
四	地名呼称の地域的差異……………494
五	「道祖神」信仰の地域性……………501
1	「道祖神」祭りと祭日……………501
2	全国的に見た三郷村における道祖神祭り……………507

第二節 日常生活に息づく信仰……………507

	はじめに……………507
一	信仰の領域と仕組み……………507
1	挙式形態に見る宗教儀式と信仰……………513
2	庶民信仰の対象と範囲……………513
二	民俗行事と信仰の仕組み……………513

1	除難招福の祈り	2	萌え出づる命への祈り
3	生命の輝きへの祈り	4	感謝の祈り
三	信仰の機能と仕組み……………525		
1	願掛け・祈願	2	社寺の参詣

第三節 月信仰……………528

一	月に頼った人々のくらし……………528		
1	月の満ち欠けで一か月	2	月の呼び名
3	月と暦のくらし……………532		
二	月に寄せる願い……………532		
1	月信仰と月待塔	2	月を祀る習俗
3	蒼い月の光を追って……………540		
	おわりに……………540		

第四節 御霊はどこに……………540

	はじめに……………540		
一	盆の流れ……………540		
1	南小倉の盆	2	楡の盆
二	新盆 <small>あるぼん</small> の作法……………543		
1	タカドローとホトケムカエ	2	アラボンの行事
三	御霊はどこに……………545		
1	御霊の迎え方から	2	御霊の送り方から
	おわりに……………545		

第五節 三郷村の民間伝承と特徴 550

一 はじめに 550

二 伝説の発生場所と特徴 550

1 山の伝説（小倉地区） 550

2 西山山麓沿いの伝説（南小倉・北小倉） 550

3 市場と周辺の伝説 550

（七日市場・一日市場・六日市場Ⅱ中萱）

4 小倉官林・太田屋林周辺の伝説（上長尾・下長尾） 550

5 温堰端の伝説（野沢・二木・及木） 550

6 住吉神社周辺の伝説（楡・住吉） 550

7 多田加助にまつわる伝説 550

三 禁忌に関する世間話 567

第六節 上長尾の道祖神祭り 569

諏訪神社の祭りの変遷 569

はじめに 569

一 道祖神 569

1 冬の道祖神祭り 569

2 夏の道祖神祭り 569

3 道祖神仲間 569

4 道祖神の費用 569

5 道祖神の諸問題 575

二 諏訪神社の祭り 575

執筆分担 581

話者名簿 582

三郷村誌編纂委員会名簿 585

三郷村誌刊行会名簿 588

事務局・編纂室職員 590

あとがき 591